［様式Ｅ－1］

笹川記念保健協力財団　研究助成
助成番号：2016A－013

（西暦）2017 年　2 月　17 日

公益財団法人　笹川記念保健協力財団
理事長　　喜　多　　悦　子　殿

2016 年度ホスピス緩和ケアに関する研究助成

研　究　報　告　書

標記について、下記の通り研究報告書を添付し提出いたします。

記

研究課題

ホスピス緩和ケアにおける口腔ケアの有効な実践~地域医療における口腔ケアの浸透ケアマネージャおよびヘルパーへの教育~

所属機関・職名　横浜市立みなと赤十字病院歯科口腔外科・部長

氏名　向山　仁

① 研究の目的

近年口腔ケアや歯科治療は緩和医療において重要な支持療法して考えられている。対象となる患者の疾患や病態は様々であるため、患者への口腔ケアの提供内容は一様でなく、患者は病院から在宅までとその療養環境は様々である。一方で、在宅でケアを立案するケアマネやケアの担い手の介護士、ヘルパーへ口腔ケアや歯科治療など口腔管理に対する教育はほとんど行われていない。歯科専門でない職種に口腔管理の重要性を教え、かつ口腔ケアに従事する際に感じる問題点やストレスを調査し、これに対する教育システム（媒体や指導法をまとめたもの）を製作し、これらの職種の口腔管理にする知識、技術の向上はかり緩和ケア患者のＱＯＬの向上をはかる。

② 研究の意義

在宅医療では介護士、ヘルパーなど患者に身近な人々の知識や理解が患者の受けるケアの質に影響を与える。また、在宅での介護プラン作成については、ケアマネージャの口腔に関する理解もケアの立案に重要である。一方でこれらの職種が、口腔に関する教育を受けていないことが、取り組み難いケアとしている。病院と在宅という療養の場による設備の違いもある。これらを補うため、口腔の基本的知識について教育し、口腔ケア実践能力を高め、病院と在宅の壁を越え、問題となる症例については医療職と連携を図れる能力を育成することは患者のＱＯＬ向上につながると考えられる。そのため口腔ケアの標準的な教育方法の確立は重要であると考える。

③ 研究方法

１）地域における口腔ケア能力の向上(ケアマネージャー教育の実践)

在宅介護においてはケアマネージャより介護サービスが立案される。しかし、ケアマネージャの介護サービスの中で口腔管理にしめる重要性への理解が十分ではない。そのため、口腔ケアが介護サービスに入らず、口腔管理が悪く、誤嚥性の肺炎となって、病院にもどってくる患者さんも少なくない。そこで、口腔に関する理解をケアマネージャに深めてもらう必要がある。また、地域では介護ヘルパーが最も患者のケアに近い存在であり、口腔ケア口腔管理能力の向上にはこの職種に対する底上げも必要である。

そこでみなと赤十字病院地域医療連携室を通じて、横浜市中区　、西区、港南区、神奈川区の各地区の地域ケアマネージャのグループに連絡して、4 回の勉強会を企画した。4 回の勉強会の内容は共通で

誤嚥性肺炎の高齢者、よりよい在宅療養支援で元気に食べるケアのポイント

１お口の管理もケアのポイント　15 分

横浜市立みなと赤十字病院　歯科口腔外科部長　向山　仁

２高齢者の QOL を支える口腔ケア　20 分

横浜市立みなと赤十字病院　歯科衛生士　小野寺敬子

３食べっられるて、どういこと？～食べる体験を通して理解する～　20 分
横浜市立みなと赤十字病院　摂食嚥下障害看護認定看護師　大坪千智

１）平成 28 年 5 月 10 日　介護の WA!　なか　ヘルプ部会
横浜市立みなと赤十字病院大会議室
参加者 125 人
アンケート回答　104 人
２）平成 28 年 7 月 28 日　港南区ケアマネ　連絡会
横浜市港南区役所　別館 2 階
参加者 100 人
アンケート回答　30 人

３）平成 28 年 11 月 15 日　神奈川区ケアマネクラブ研修
横浜市神奈川区反町地域ケアプラザ 2 階多目的ホール
参加者 55 人
アンケート回答　47 人

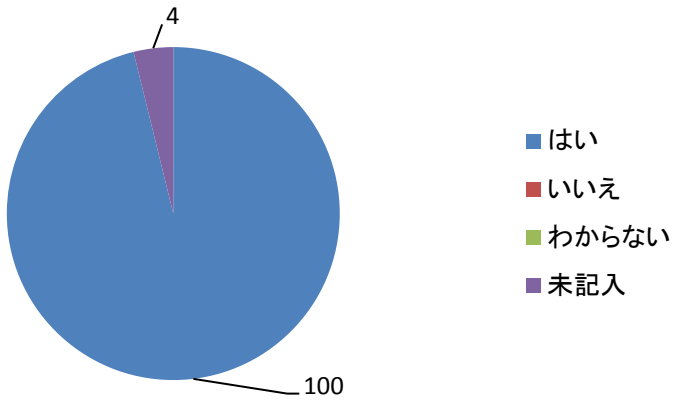
４）平成 29 年 2 月 17 日　西区 4 地域包括支援センター　主任ケアマネージャー会
横浜市西区宮崎地域ケアプラザ

参加者 22 人
アンケート回答　18 人

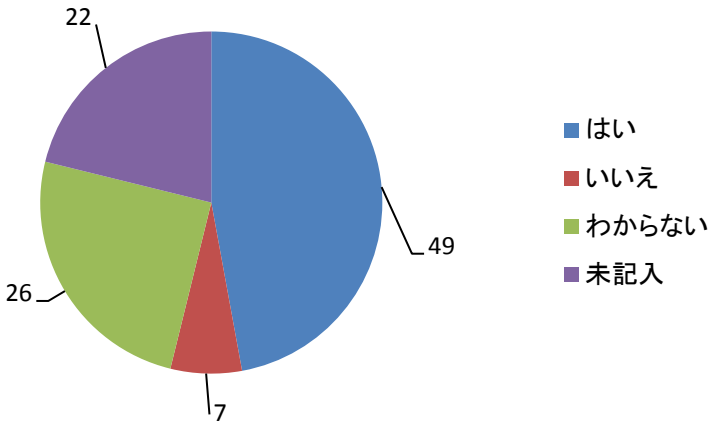
アンケートの内容　資料 1

結果
１）中区のアンケート結果

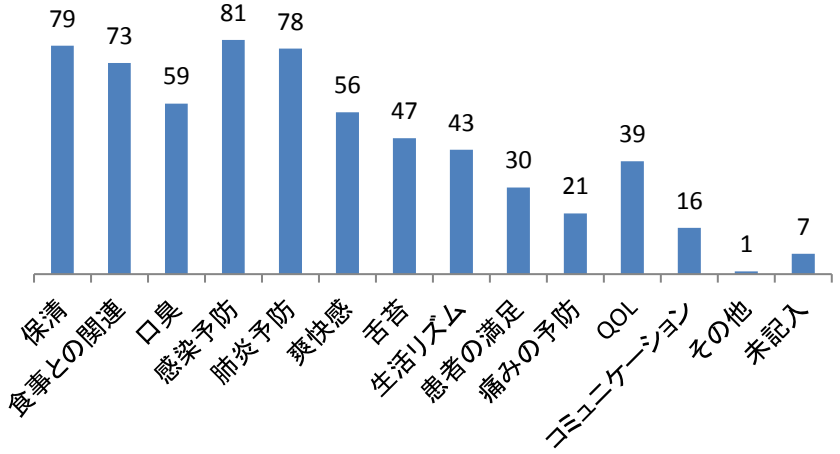
① 介護において口腔ケアは必要だと思いますか？



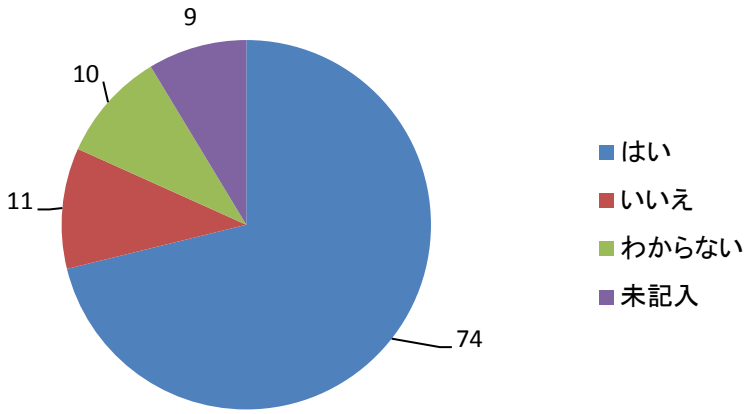
② 介護の場における特別な口腔ケアはあると思いますか？



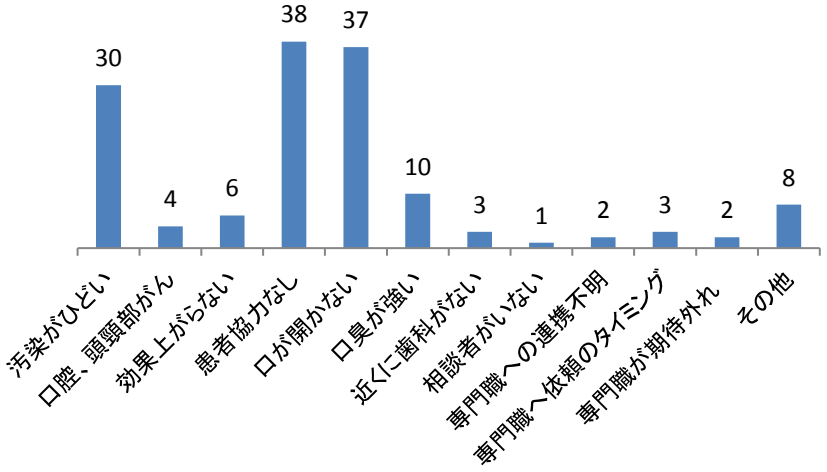
③ 口腔ケアに期待することは何ですか？



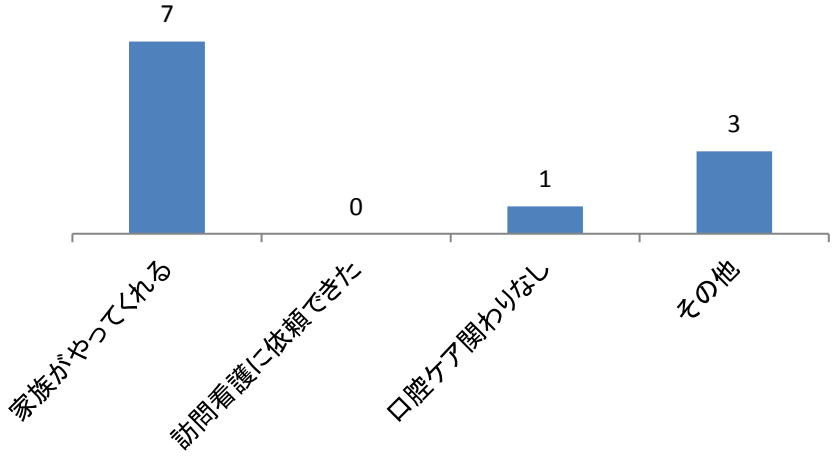
④　口腔ケアで困ったことはありますか？



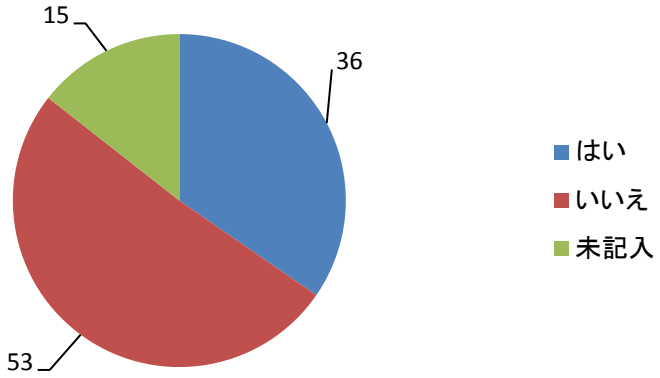
④-1　口腔ケアで困った内容



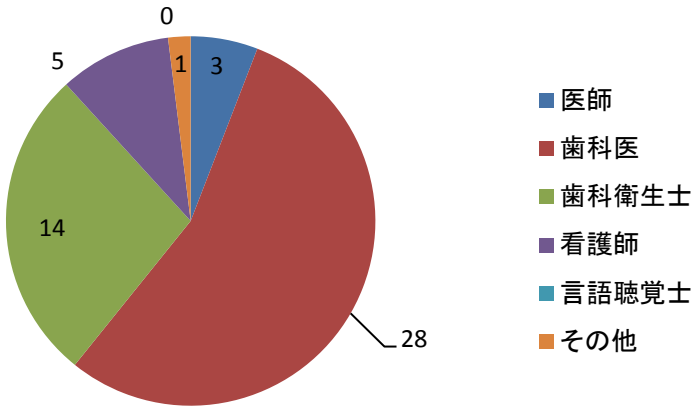
④-2　口腔ケアで困らない理由



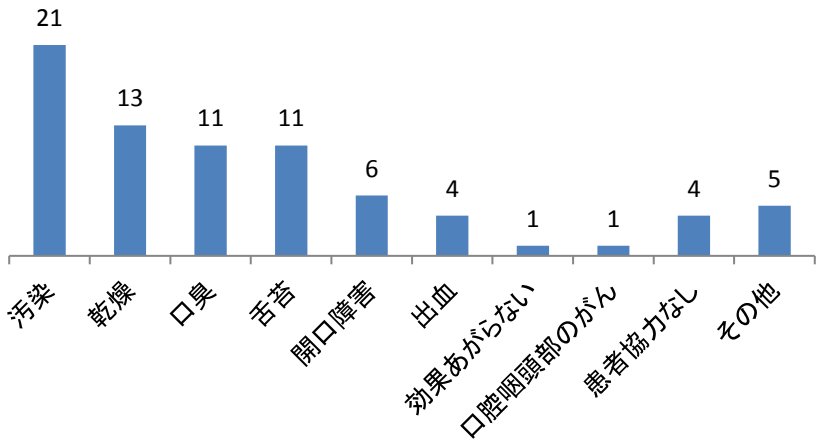
⑤　専門職へ口腔ケアの依頼したことはありますか？



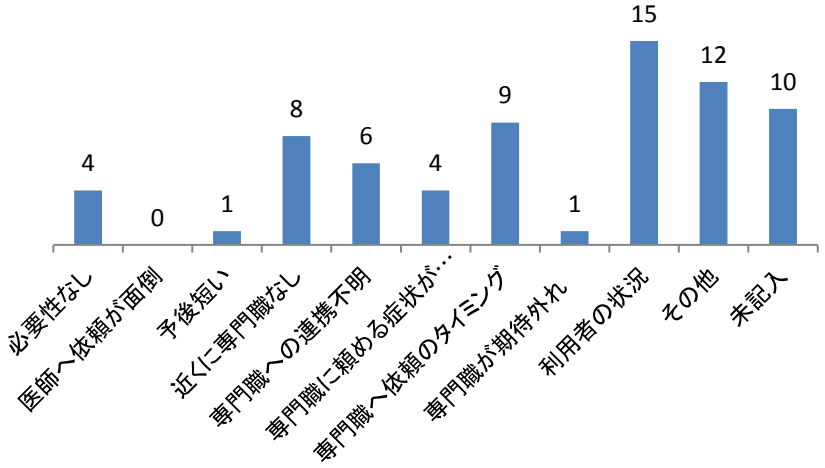
⑤-1　口腔ケア依頼時の専門職



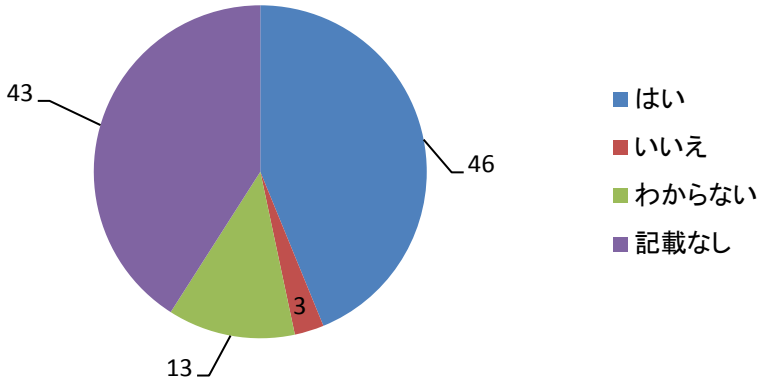
⑤-2　利用者の状況



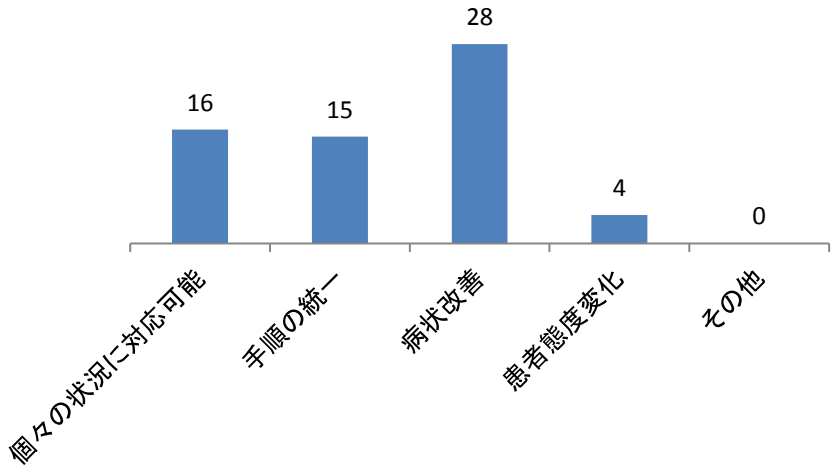
⑤-3　専門職への依頼をしたことがない理由



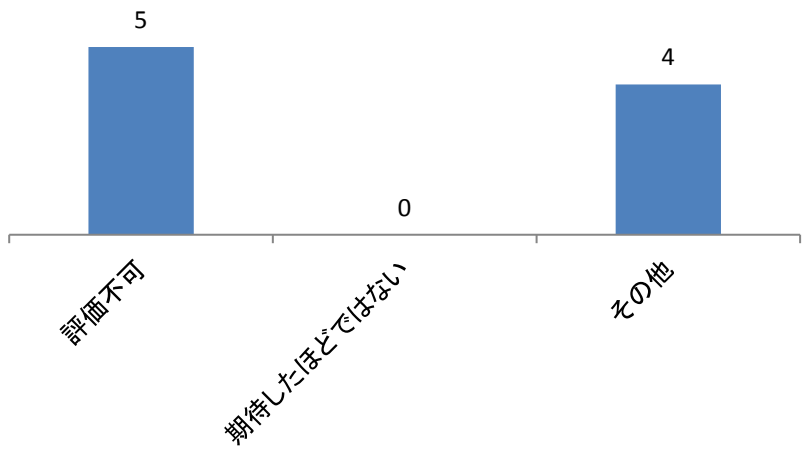
⑥　専門職が介入したことにより、改善はありましたか？



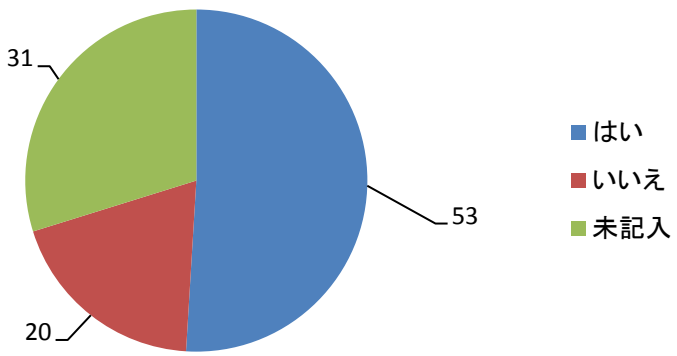
⑥-1　改善内容



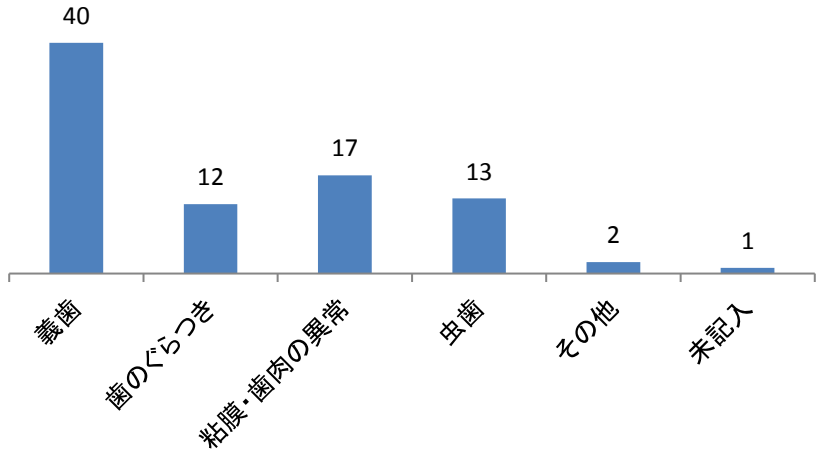
⑥-3　改善したか分からない理由



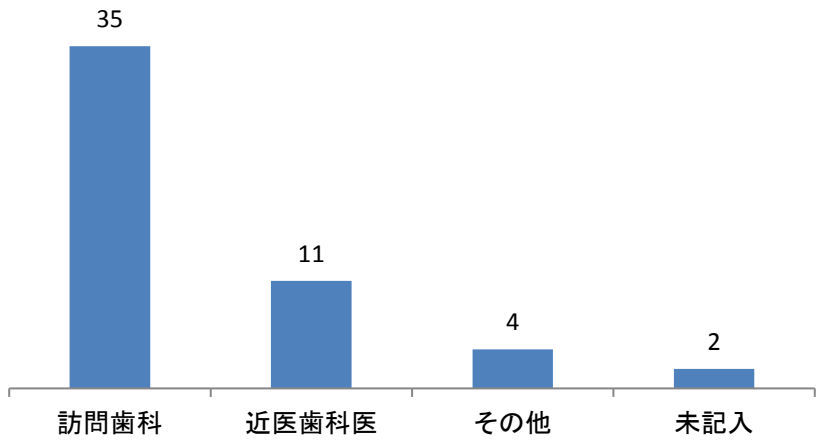
⑦　口腔病状の為に、歯科診療を依頼したことはありますか？



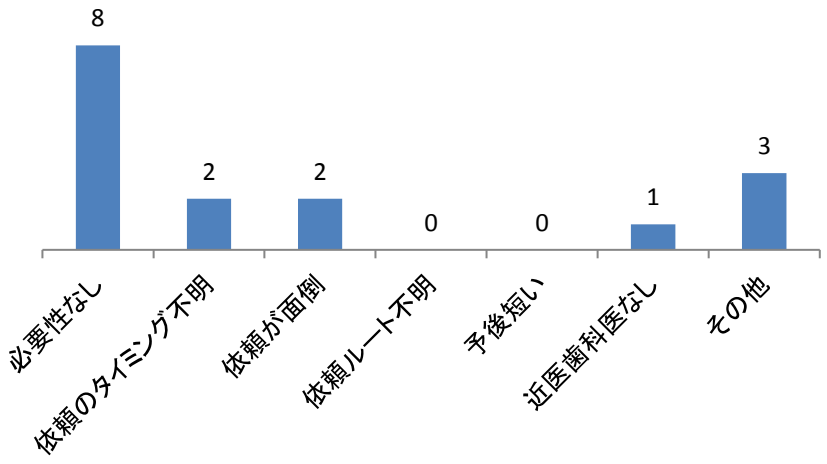
⑦-1　依頼内容



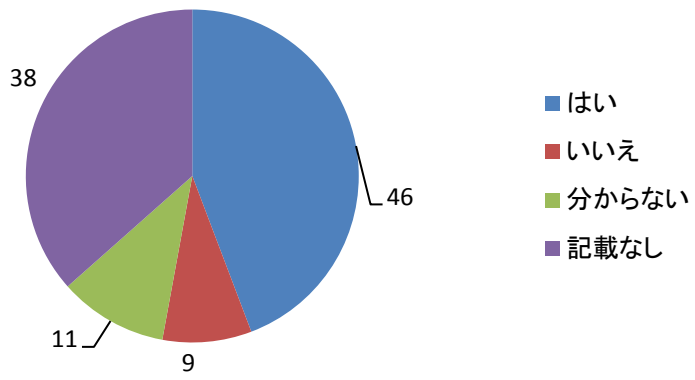
⑦-2　歯科内容



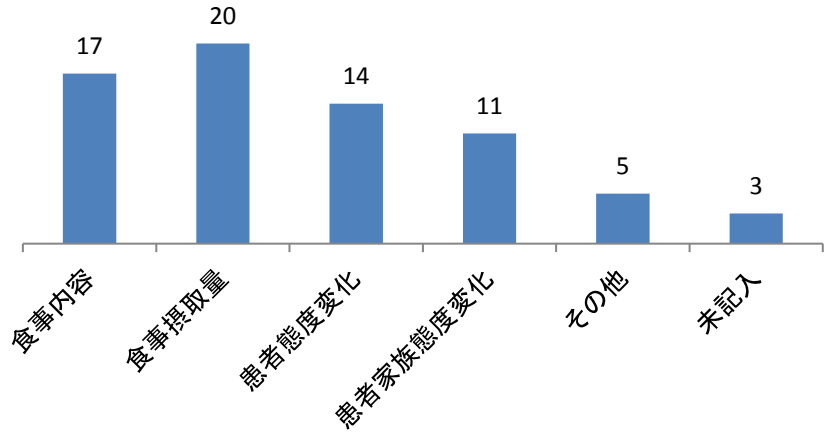
⑦-3　歯科診療を依頼しなかった理由



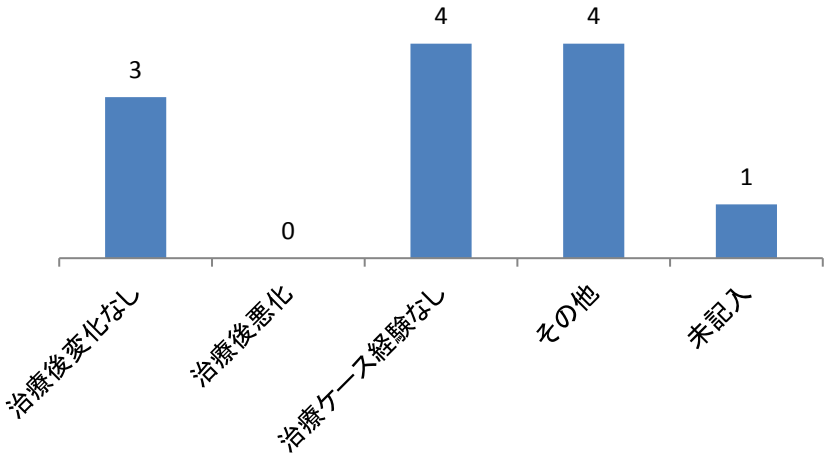
⑧　口腔病状への介入により、改善はありましたか？



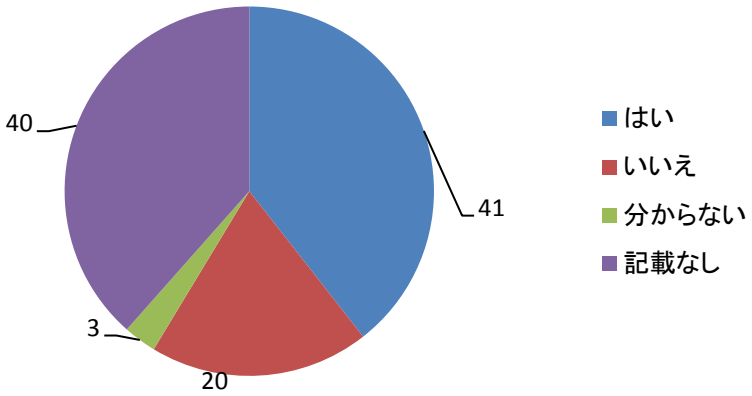
⑧-1　改善内容

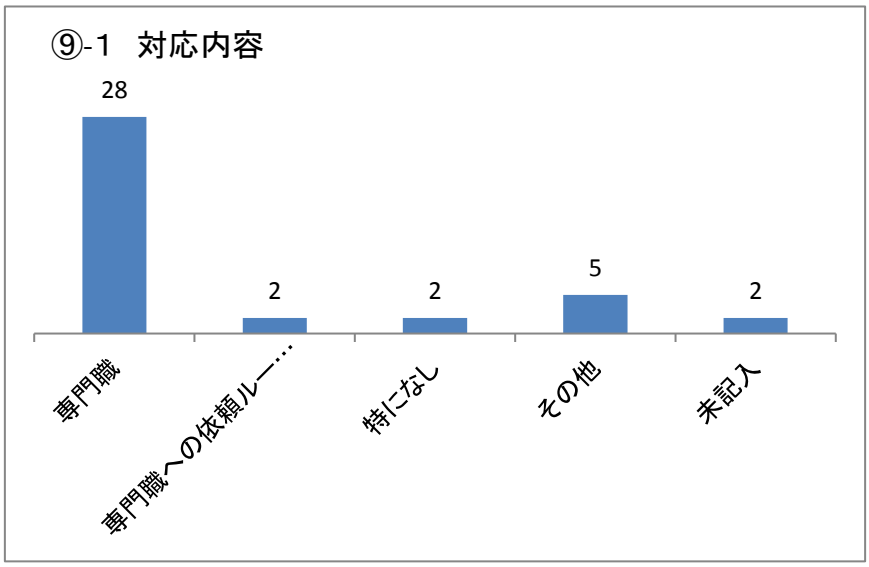


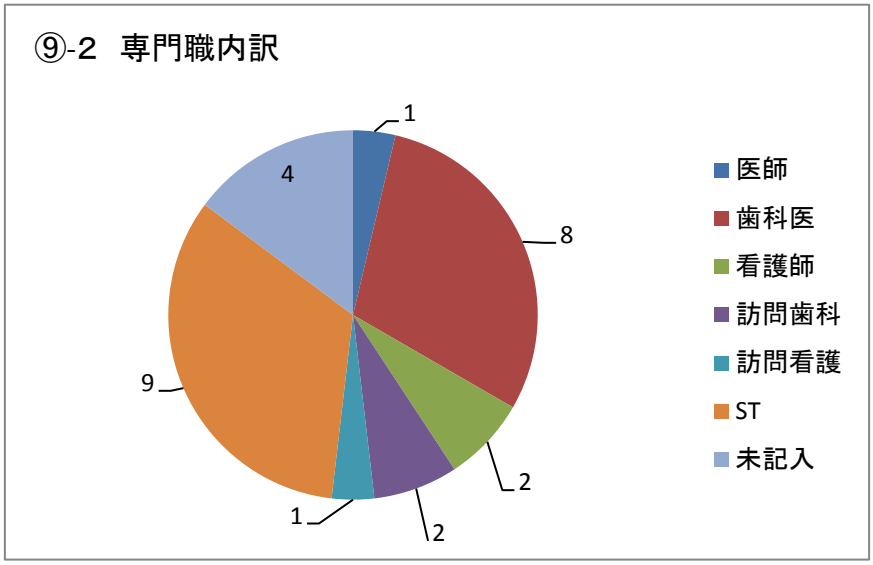
⑧-2　改善がなかった理由

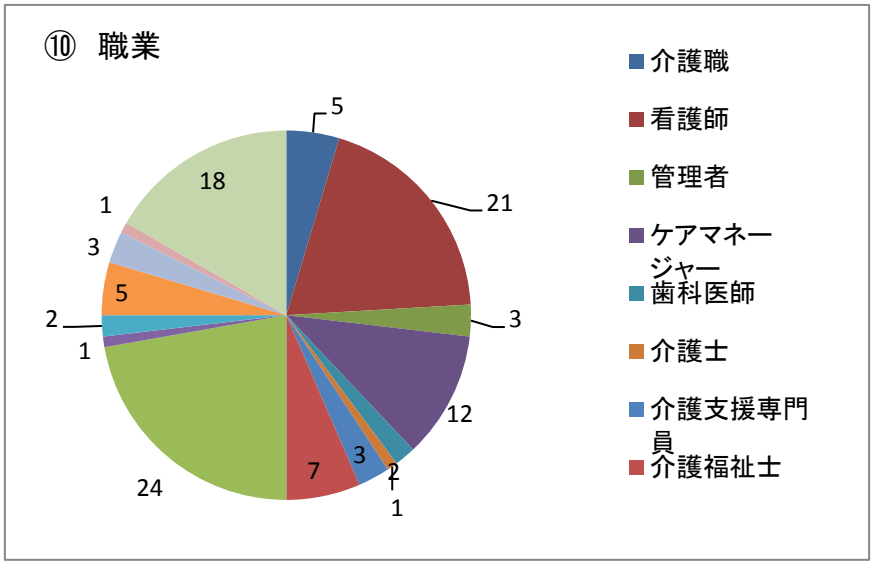


⑨　飲み込みで困っている方はいますか？

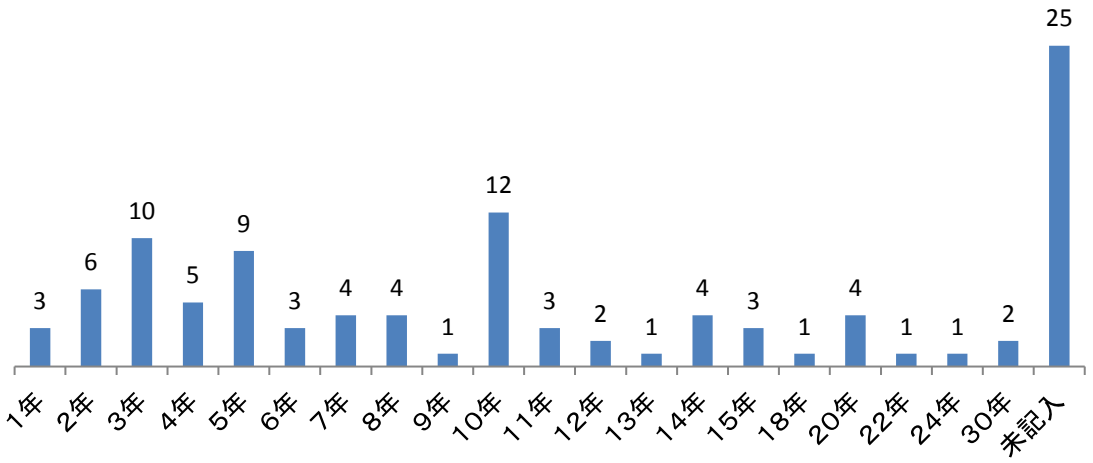



⑨-1　対応内容
28
2
2
5
2
専門職
専門職への依頼ルー…
特になし
その他
未記入

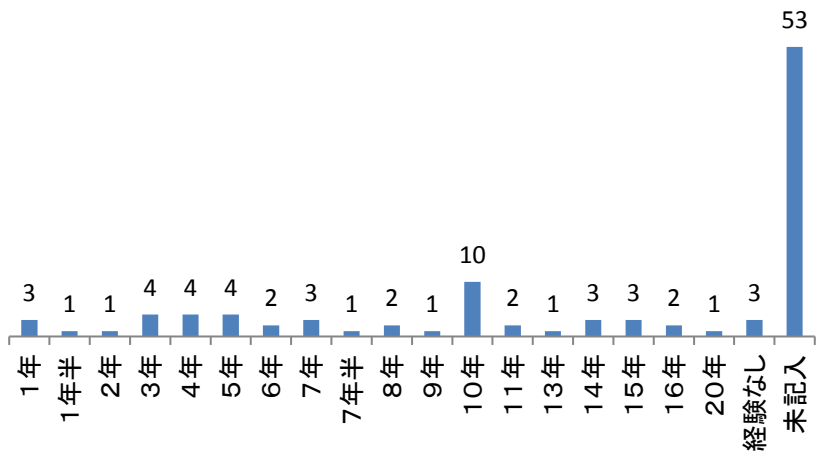

⑨-2　専門職内訳
1
8
2
2
1
9
4
医師
歯科医
看護師
訪問歯科
訪問看護
ST
未記入


⑩　職業
5
21
3
12
2
1
7
3
24
1
2
5
3
1
18
介護職
看護師
管理者
ケアマネージャー
歯科医師
介護士
介護支援専門員
介護福祉士

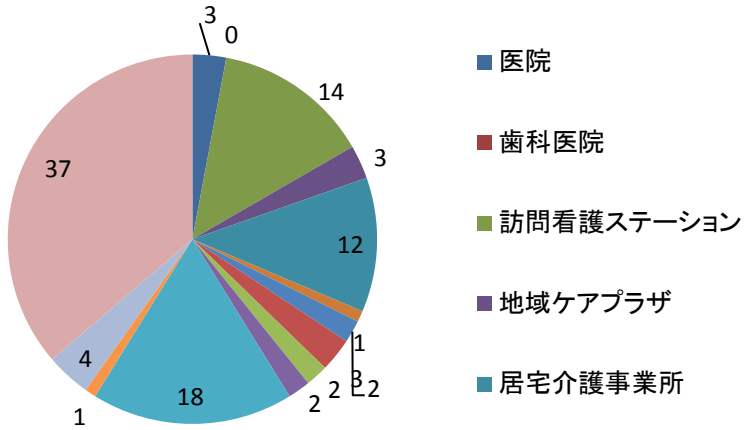
⑩-1　経験年数



⑩-2　在宅経験年数

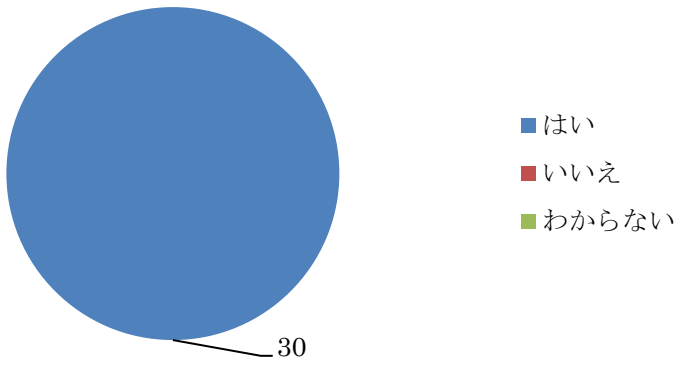


⑩-3　現在の勤務先

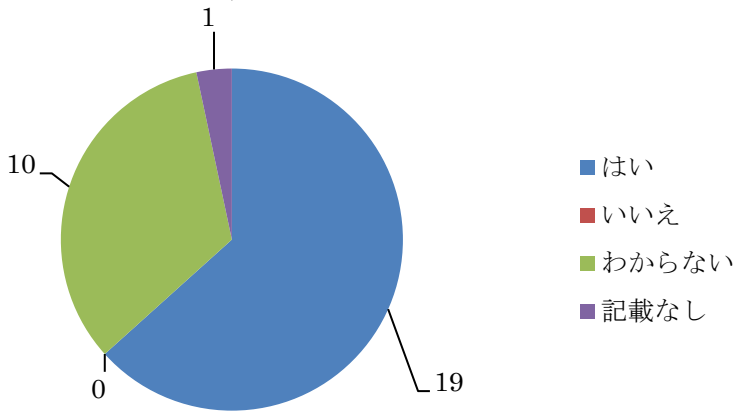


２）港南区のアンケート結果

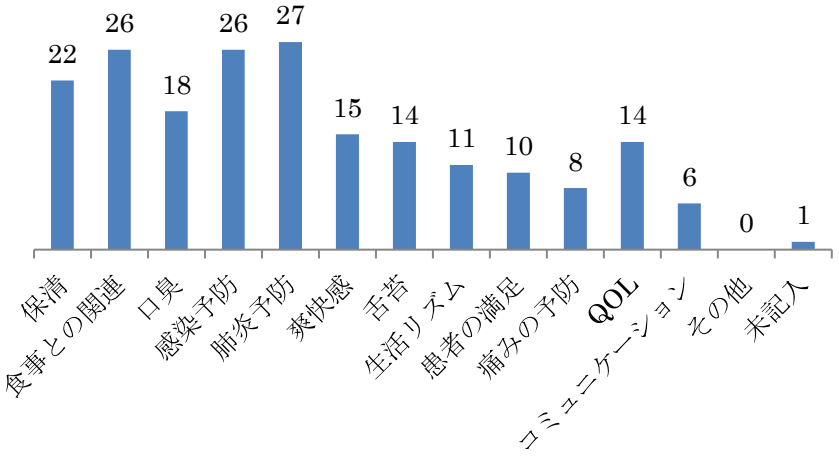
① 介護において口腔ケアは必要だと思いますか？



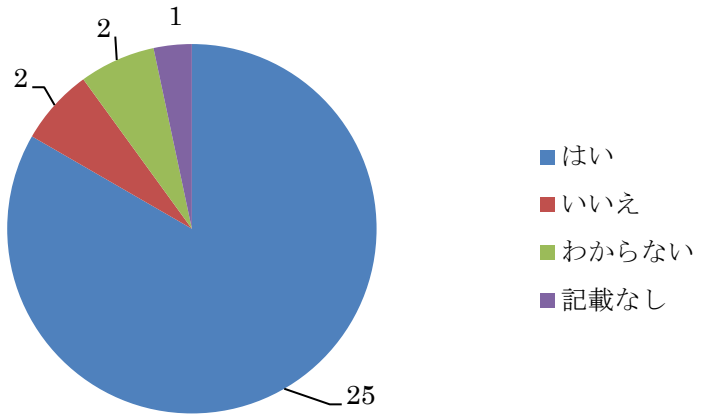
② 介護の場における特別な口腔ケアはあると思いますか？



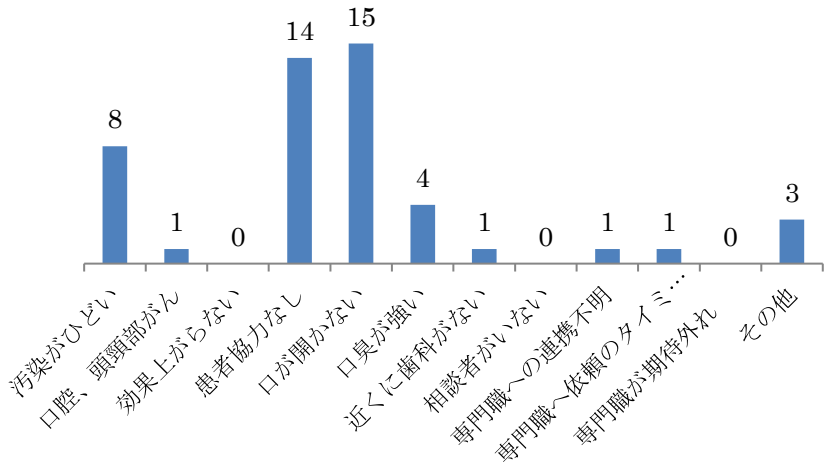
③ 口腔ケアに期待することは何ですか？



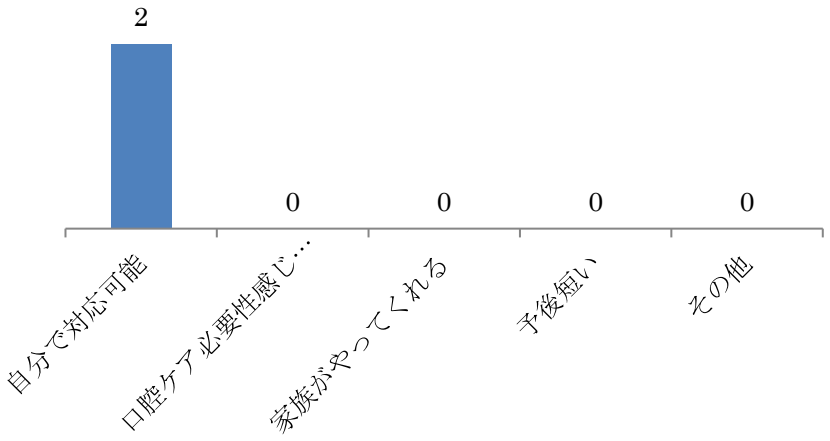
④　口腔ケアで困ったことはありますか？



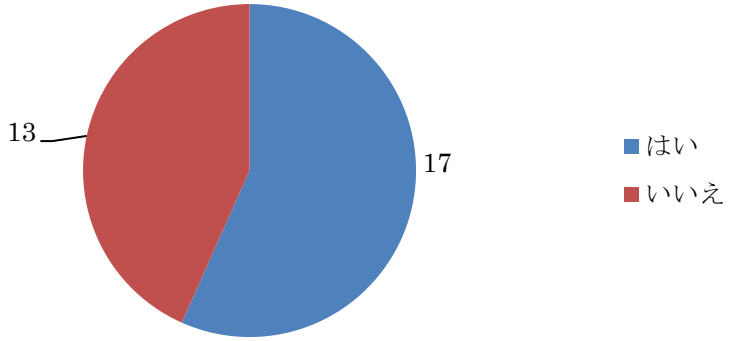
④-１　口腔ケアで困った内容



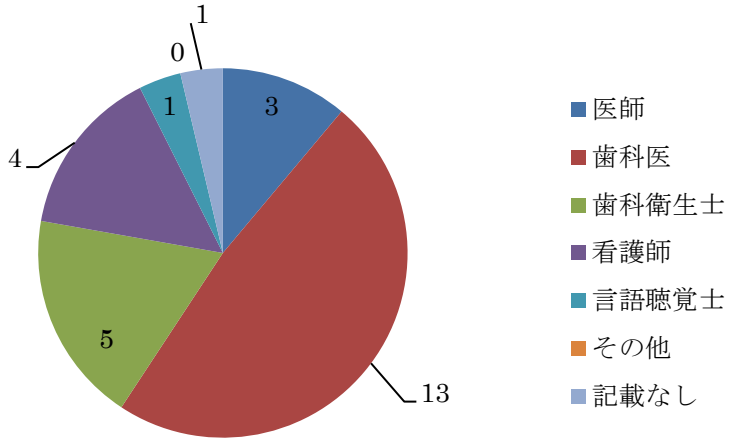
④-２　口腔ケアで困らない理由



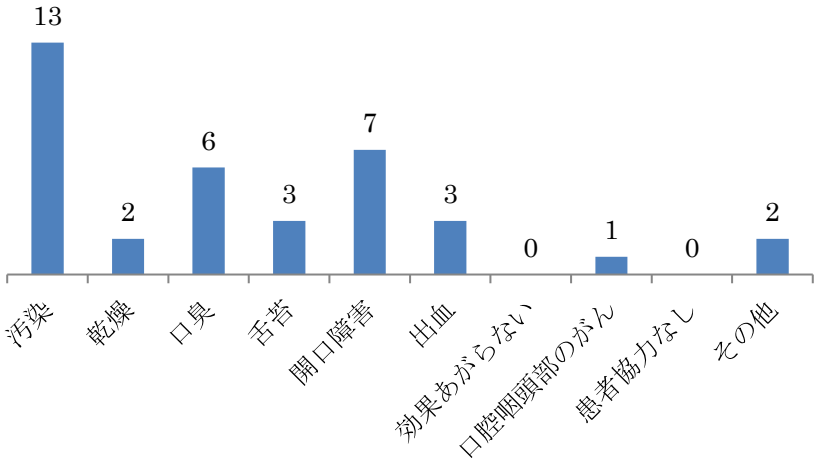
⑤　専門職へ口腔ケアの依頼したことはありますか？



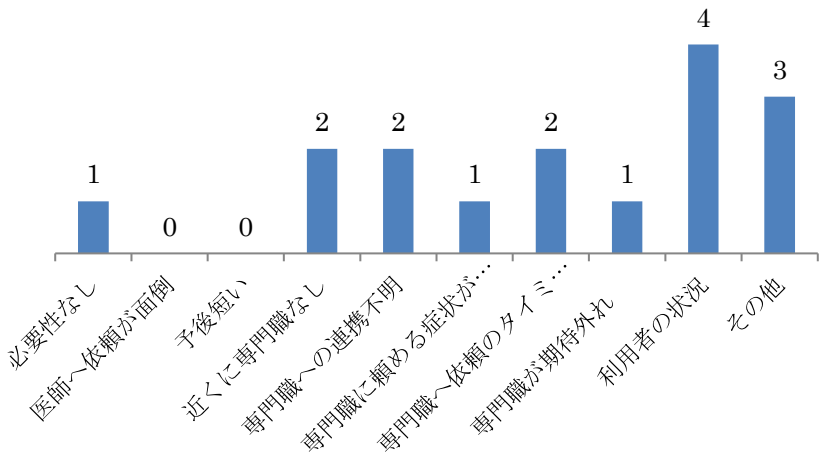
⑤-１　口腔ケア依頼時の専門職



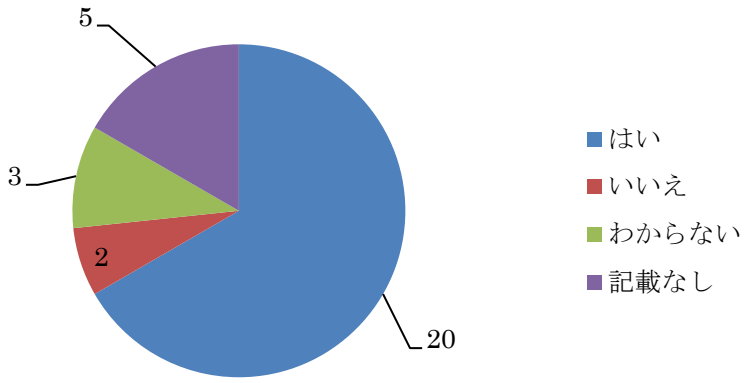
⑤-２　利用者の状況



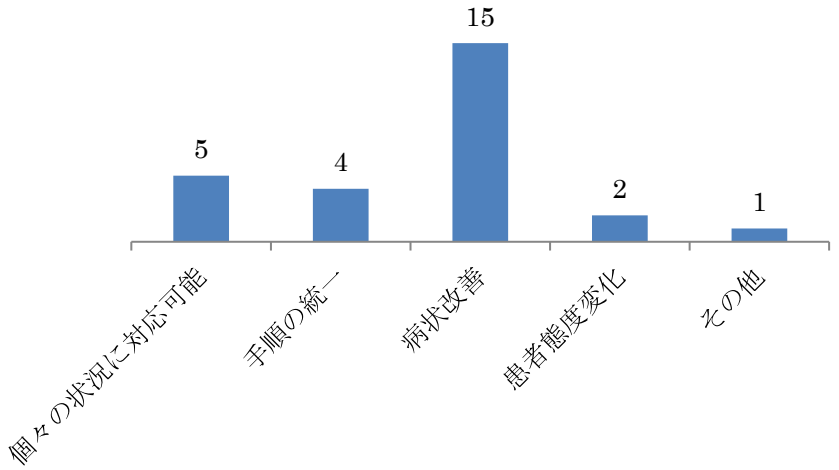
⑤-３　専門職への依頼をしたことがない理由



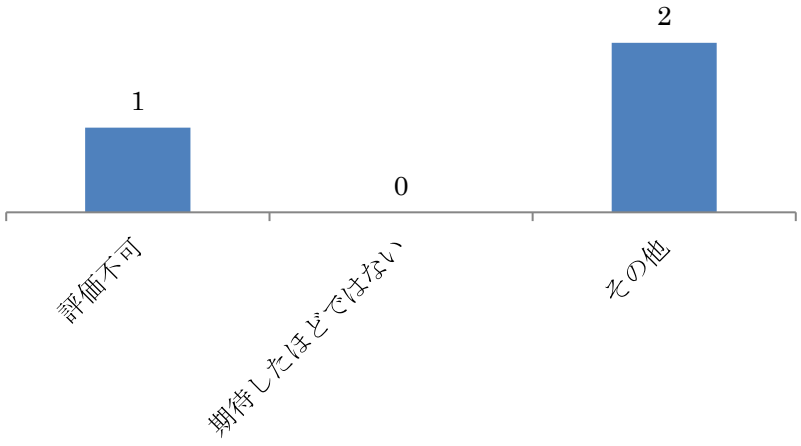
⑥　専門職が介入したことにより、改善はありましたか？



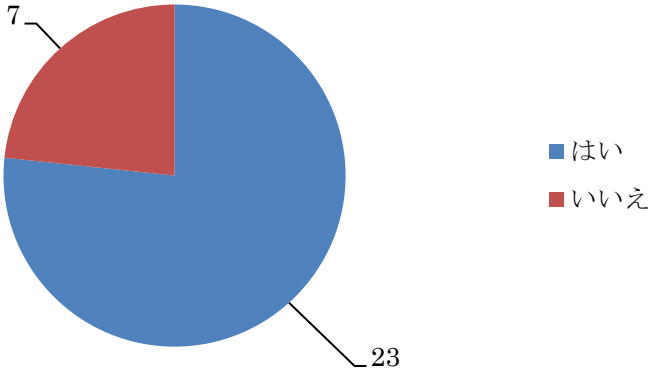
⑥-１　改善内容



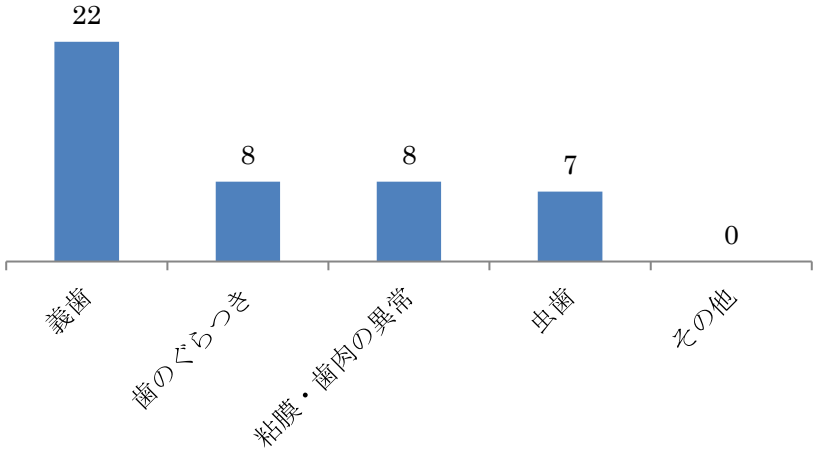
⑥-３　改善したか分からない理由



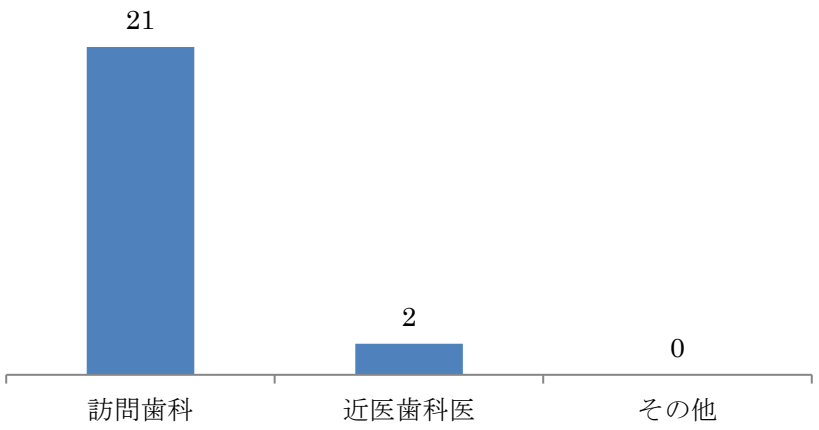
⑦　口腔病状の為に、歯科診療を依頼したことはありますか？



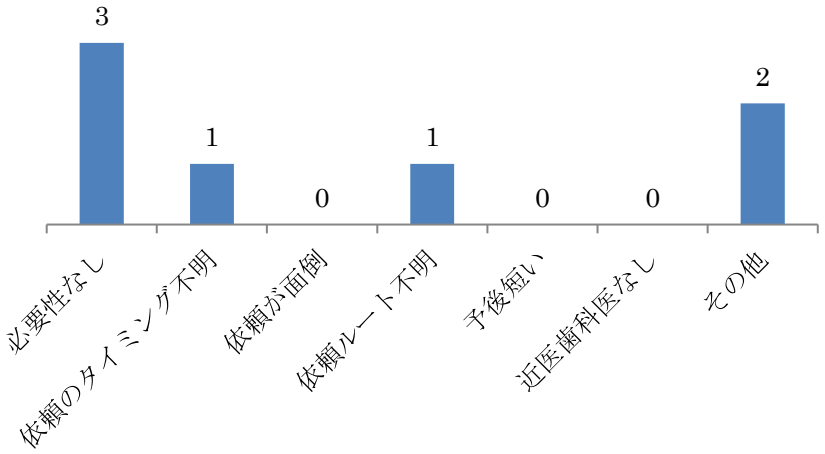
⑦-１　依頼内容



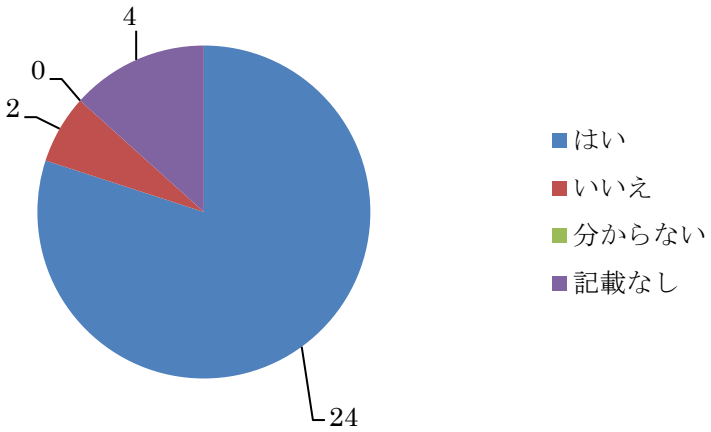
⑦-２　歯科内容

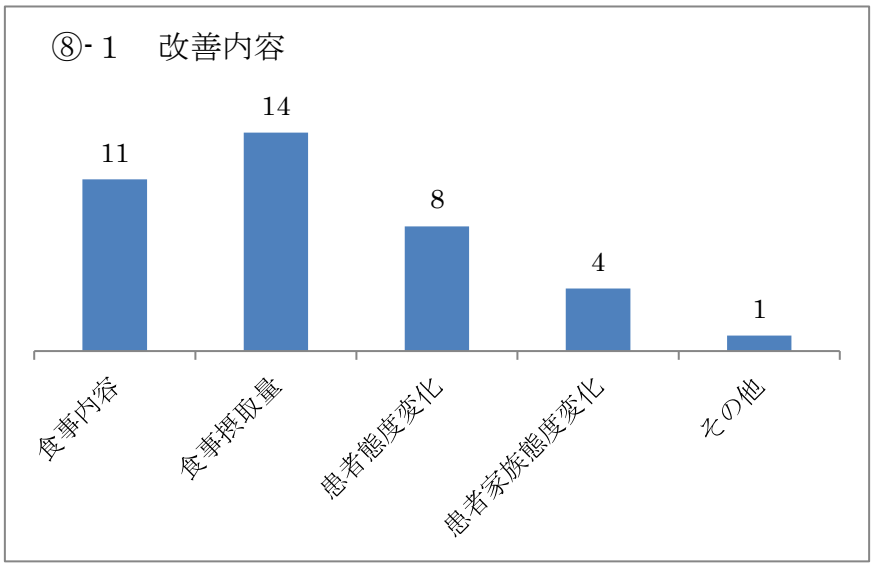


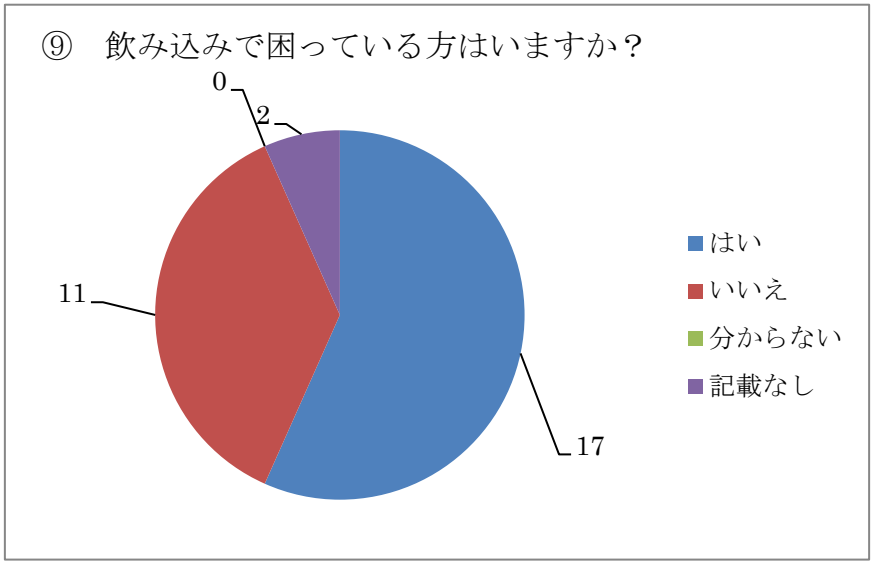
⑦-３　歯科診療を依頼しなかった理由

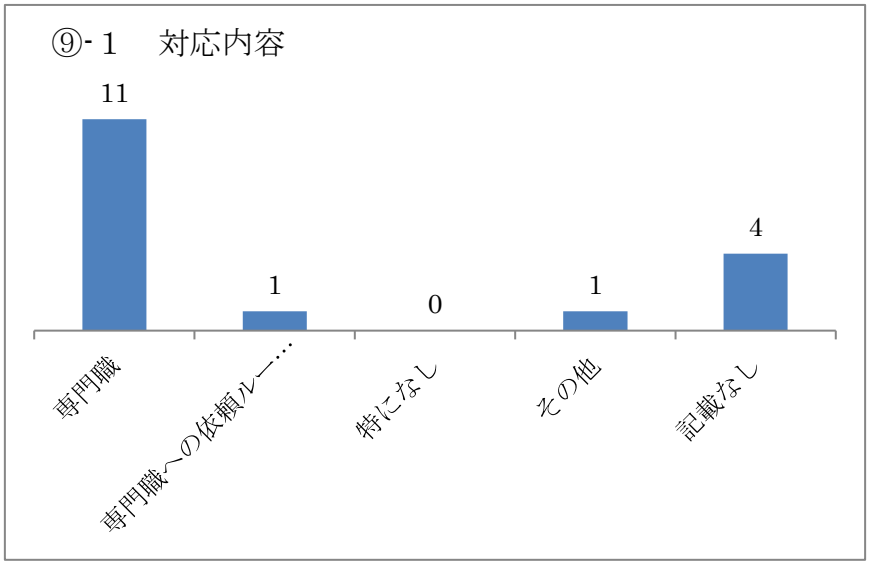


⑧　口腔病状への介入により、改善はありましたか？

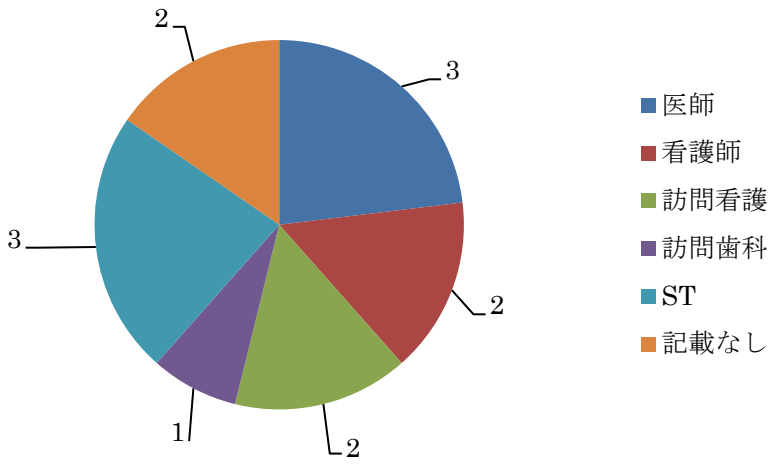



⑧-１　改善内容
11
14
8
4
1
食事内容
食事摂取量
患者態度変化
患者家族態度変化
その他

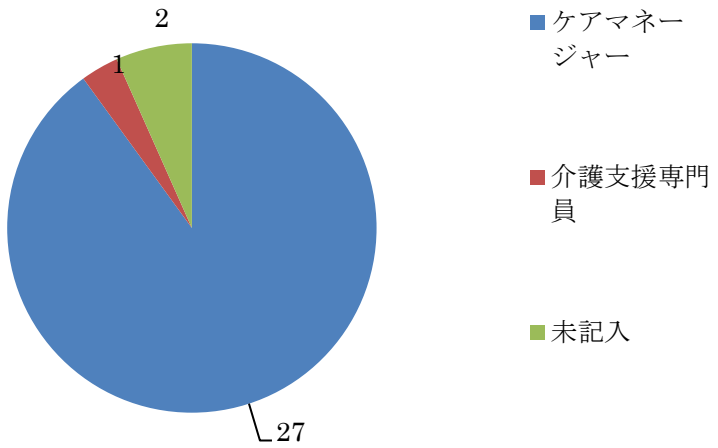

⑨　飲み込みで困っている方はいますか？
0
2
11
17
はい
いいえ
分からない
記載なし


⑨-１　対応内容
11
1
0
1
4
専門職
専門職への依頼ルー…
特になし
その他
記載なし

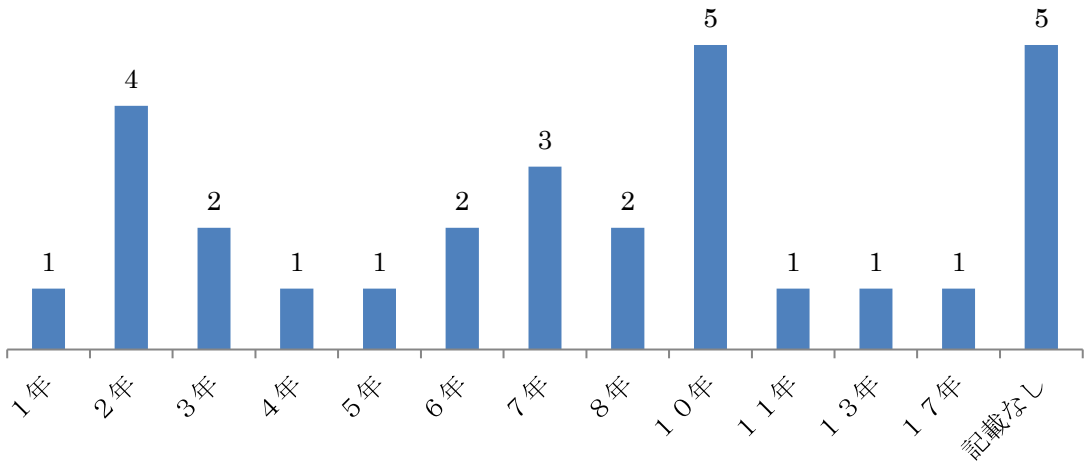
⑨-２　専門職内訳



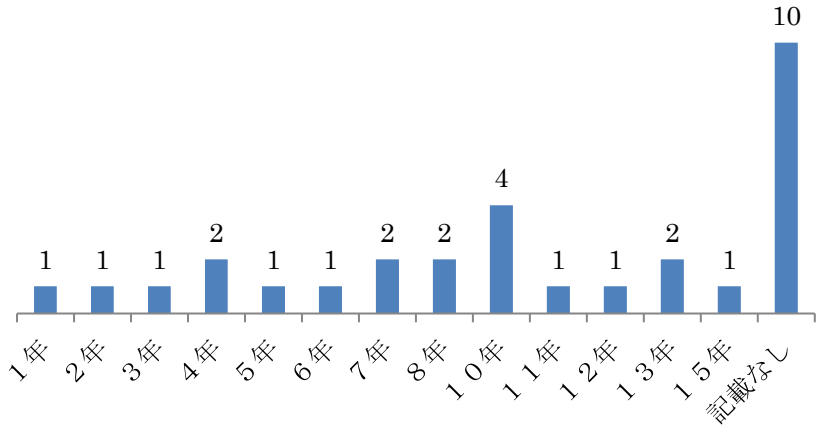
⑩　職業



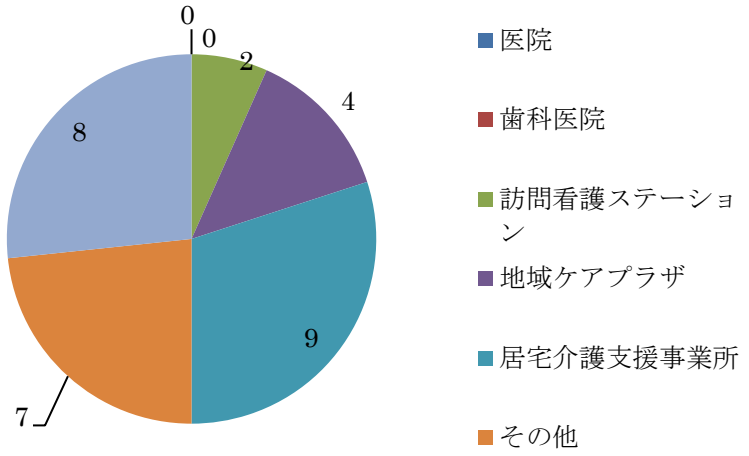
⑩-１　経験年数



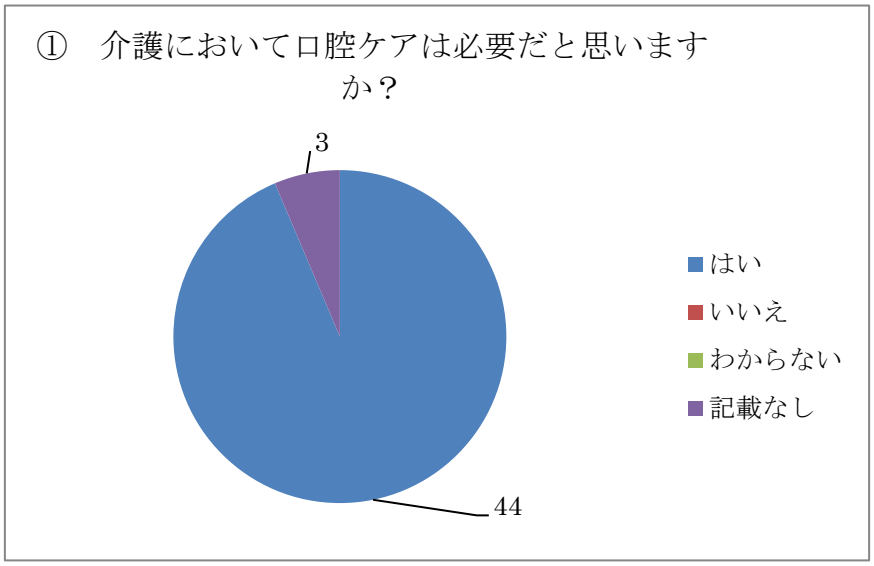
⑩-２　在宅経験年数

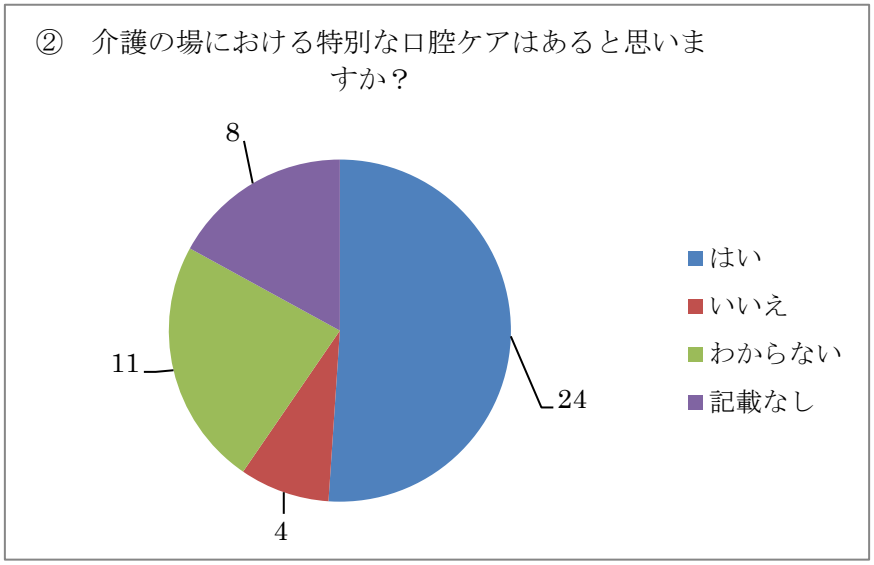


⑩-３　現在の勤務先

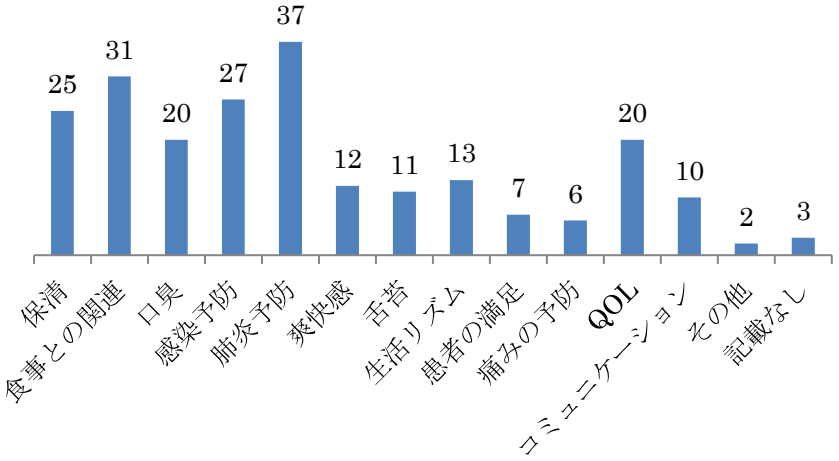


３）神奈川区アンケート結果

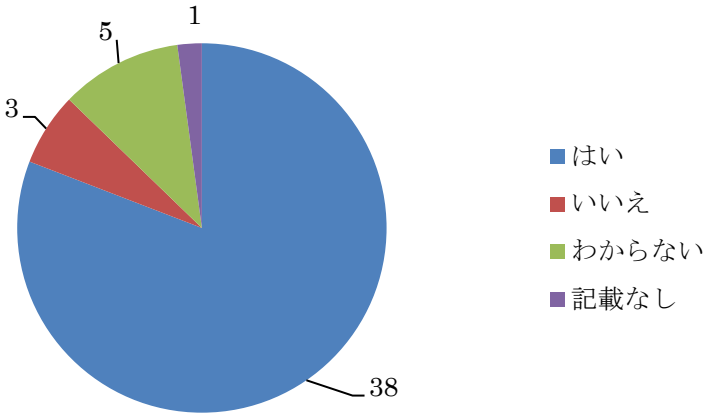




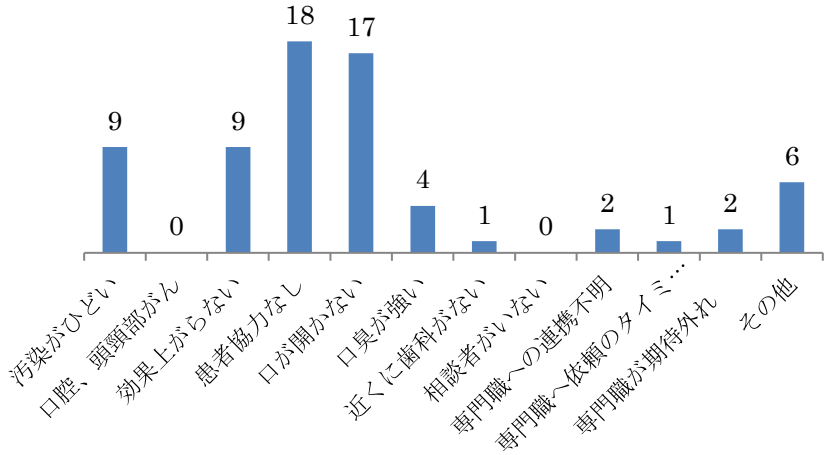
③　口腔ケアに期待することは何ですか？



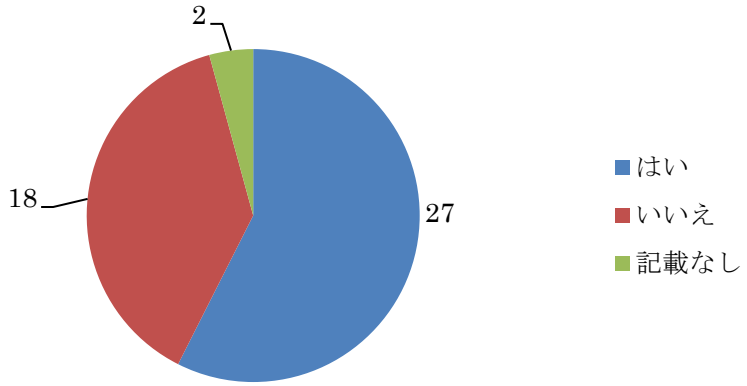
④　口腔ケアで困ったことはありますか？



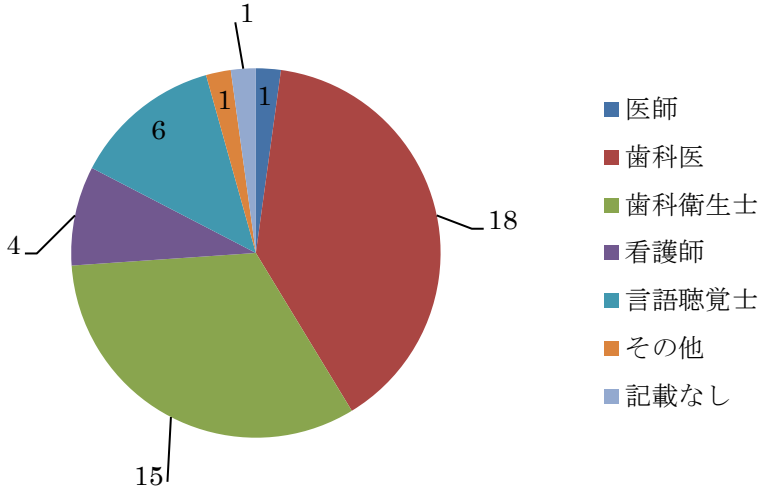
④-１　口腔ケアで困った内容



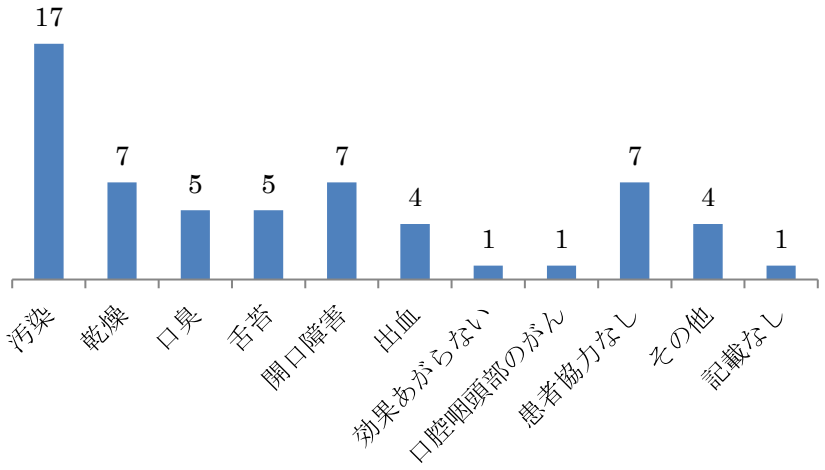
⑤　専門職へ口腔ケアの依頼したことはありますか？



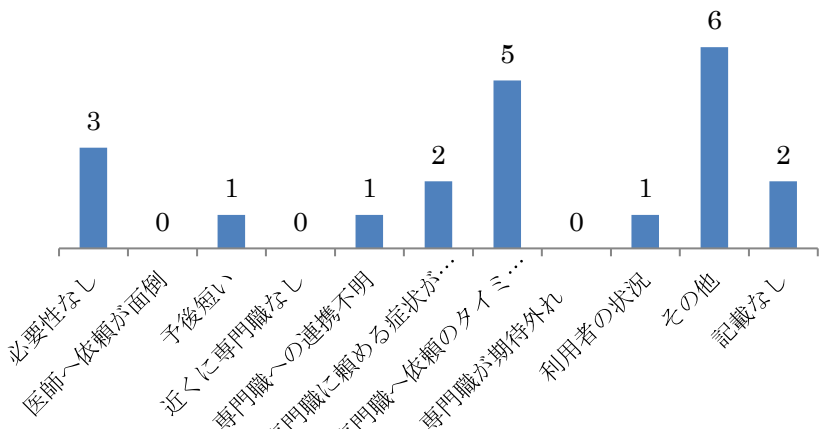
⑤-１　口腔ケア依頼時の専門職



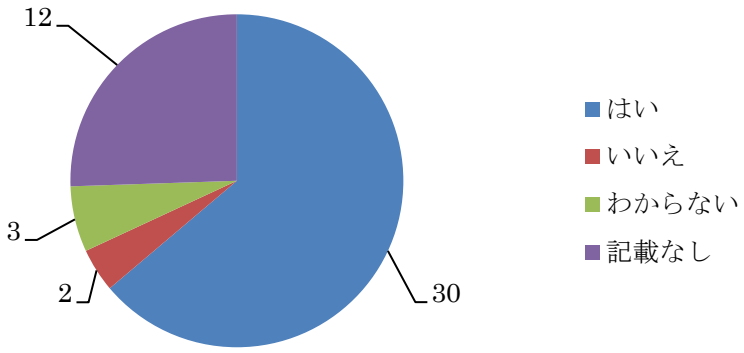
⑤-２　利用者の状況



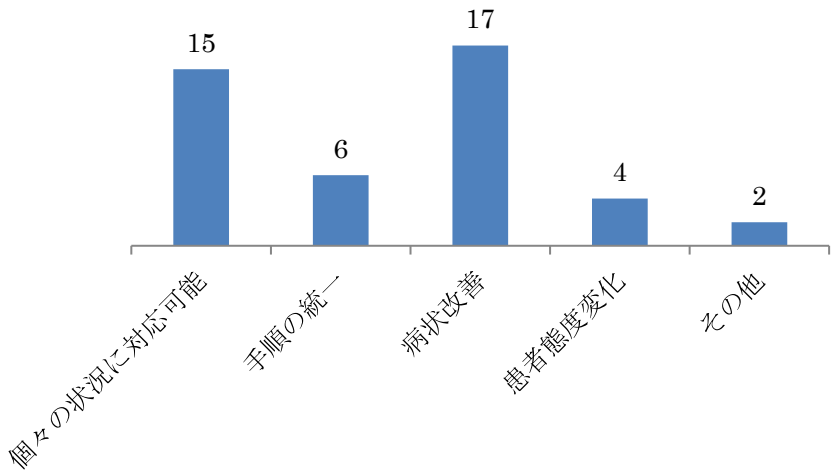
⑤-３　専門職への依頼をしたことがない理由



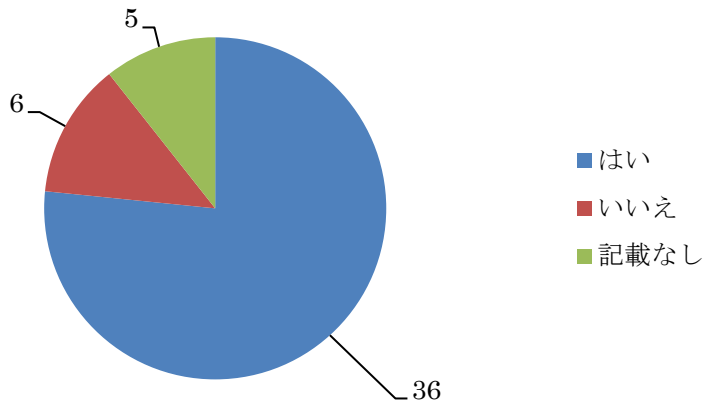
⑥　専門職が介入したことにより、改善はありましたか？



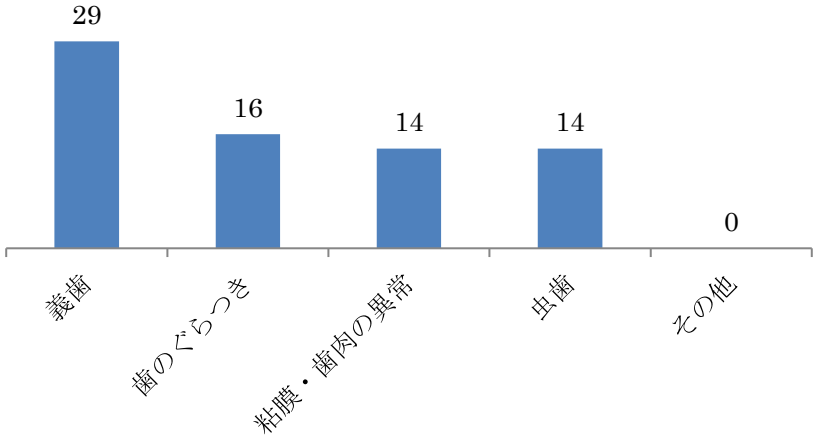
⑥-１　改善内容



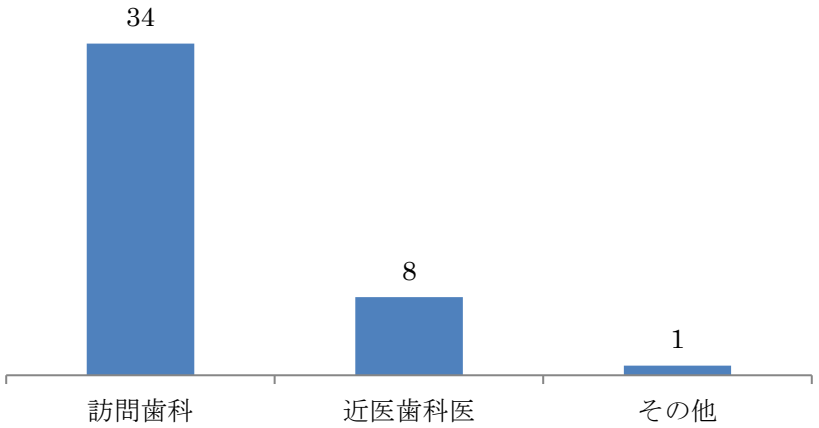
⑦　口腔病状の為に、歯科診療を依頼したことはありますか？



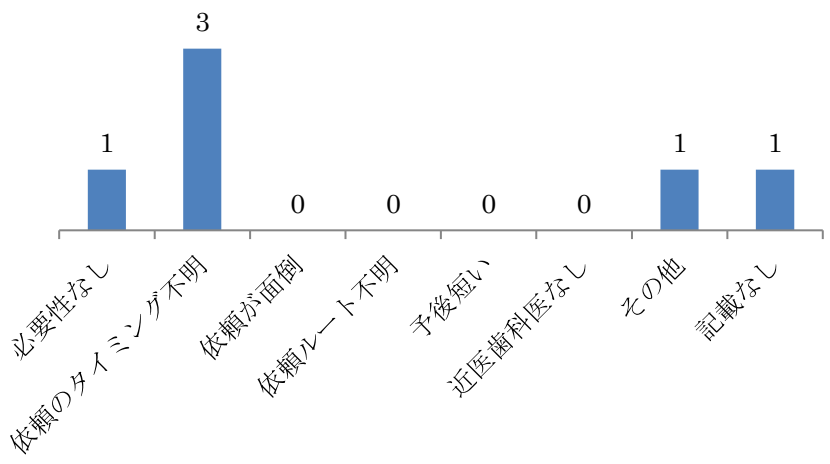
⑦-１　依頼内容



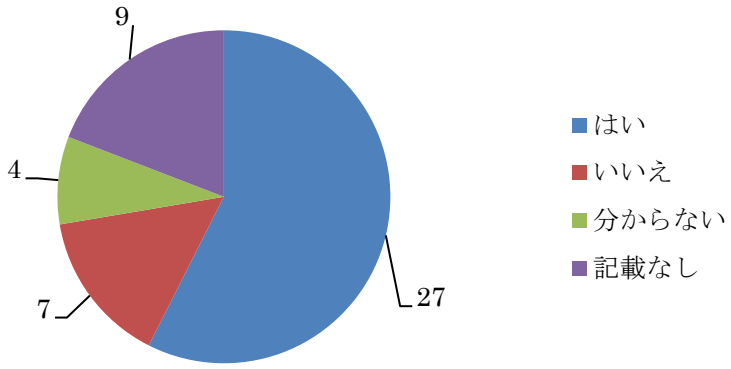
⑦-２　歯科内容



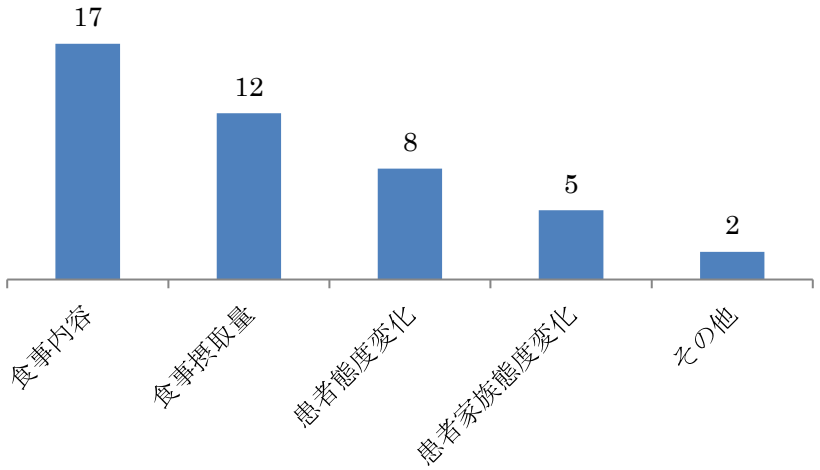
⑦-３　歯科診療を依頼しなかった理由



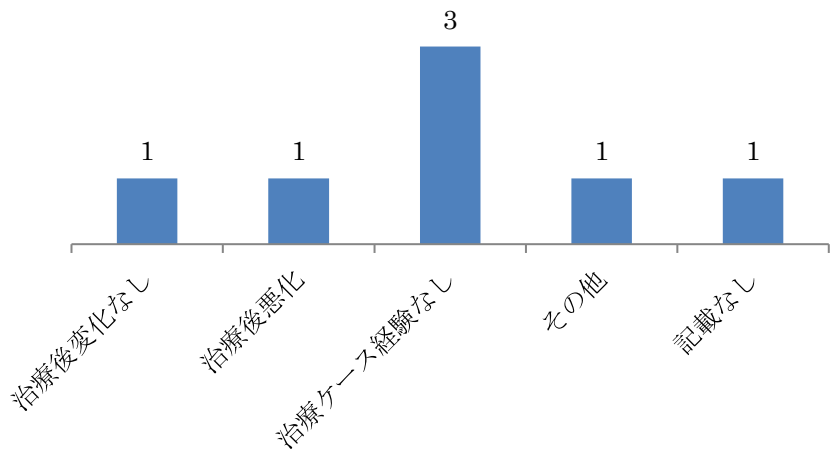
⑧　口腔病状への介入により、改善はありましたか？



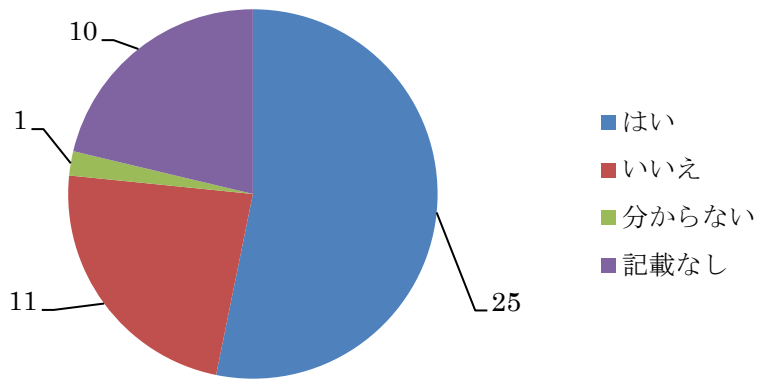
⑧-１　改善内容



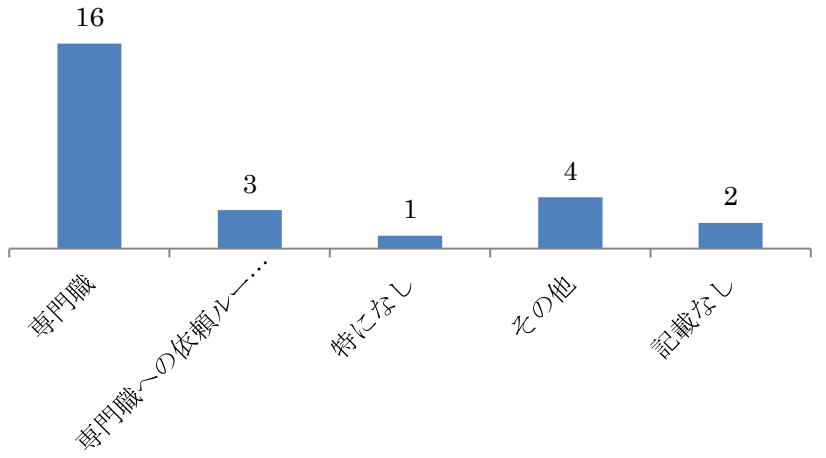
⑧-２　改善がなかった理由



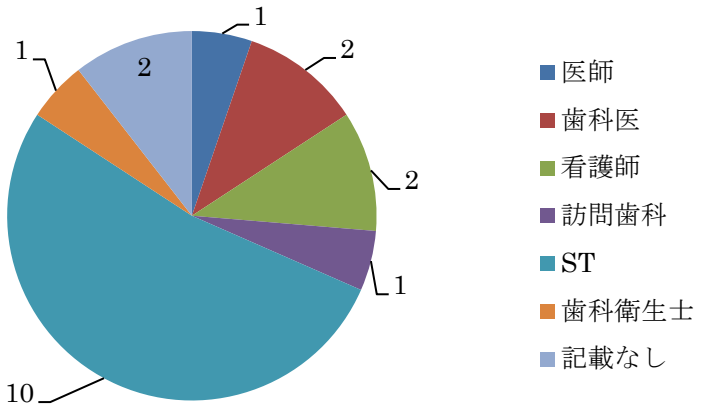
⑨　飲み込みで困っている方はいますか？



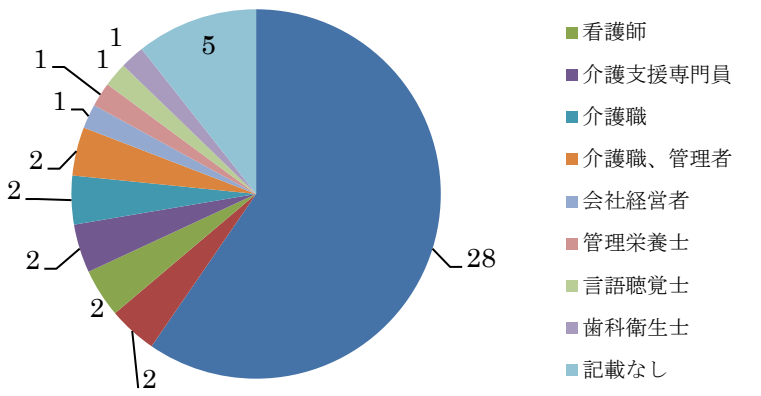
⑨-１　対応内容



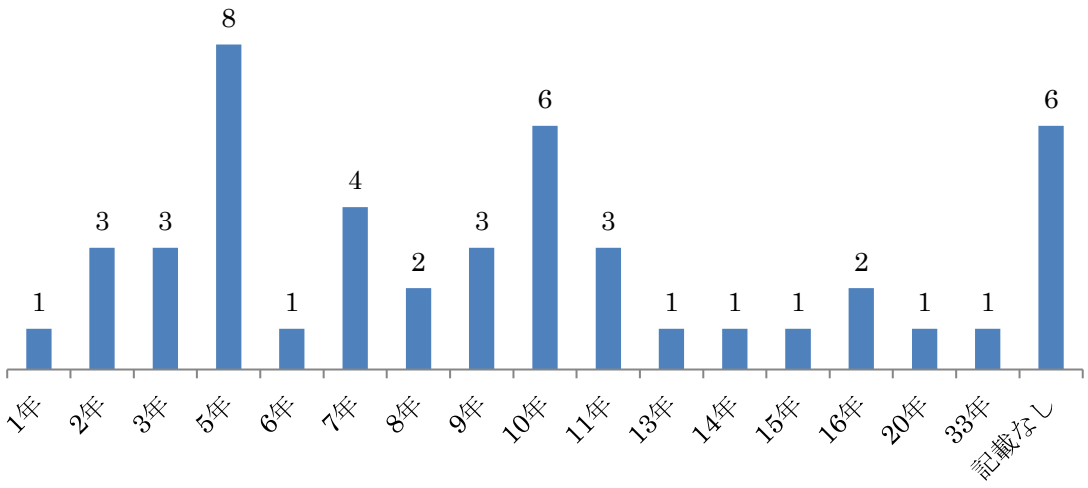
⑨-２　専門職内訳

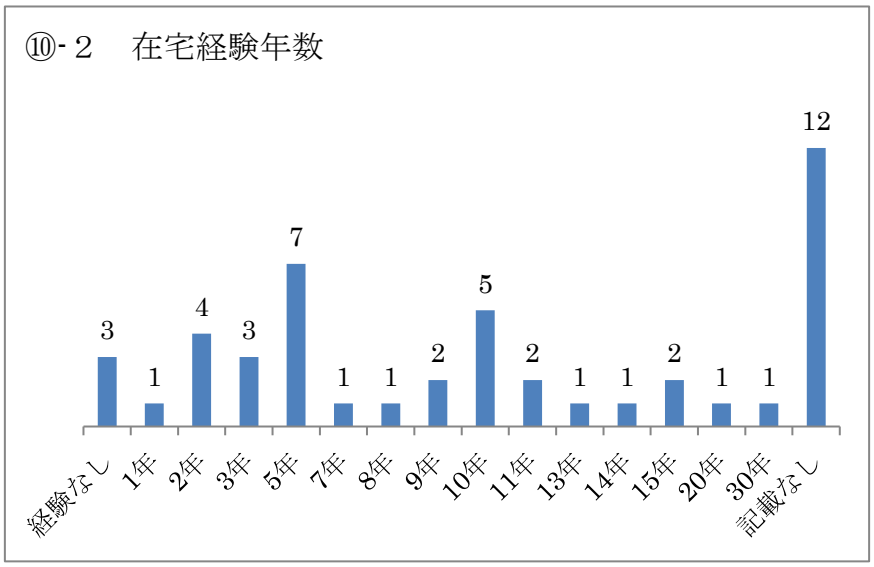


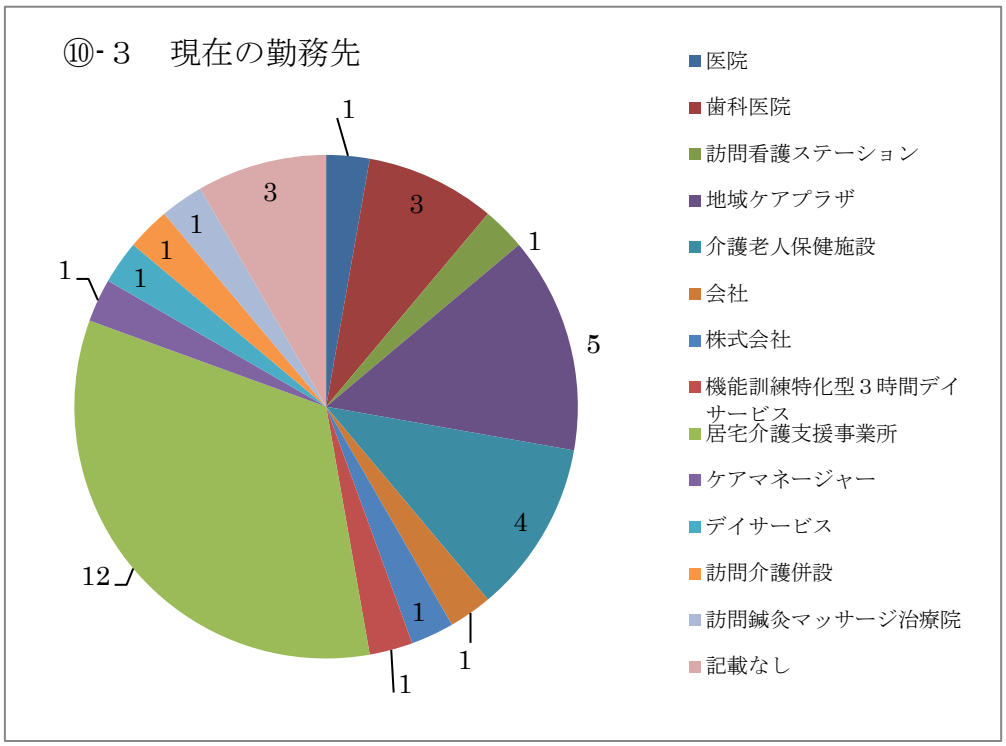
⑩　職業



⑩-１　経験年数




⑩-２　在宅経験年数
3
1
4
3
7
1
1
2
5
2
1
1
2
1
1
12
経験なし
1年
2年
3年
5年
7年
8年
9年
10年
11年
13年
14年
15年
20年
30年
記載なし


⑩-３　現在の勤務先
1
3
1
5
4
1
1
12
1
1
1
1
3
医院
歯科医院
訪問看護ステーション
地域ケアプラザ
介護老人保健施設
会社
株式会社
機能訓練特化型３時間デイサービス
居宅介護支援事業所
ケアマネージャー
デイサービス
訪問介護併設
訪問鍼灸マッサージ治療院
記載なし

４）西区
2 月 17 日に研修会を行っており　アンケート結果はまだおこなえていません。
研究発表会にて詳細に発表します。

結果のまとめ

在宅での口腔ケアの重要性を参加者全員が理解していた。しかしながら、症状が様々。経済的にも様々、病院と同じようなケアはできないので、病院と介護現場のかい離がある。また、参加者の多くが口腔ケアで困ったことを経験していた、しかし、およそ半数人しか専門職に依頼できていない。そのために介護の現場と専門職を有機的につなぐフローの確立が必要である。一方口腔管理ついては専門職介入の効果はあるという実感がえられており、医療、介護資源の適切な投入は在宅介護現場での利用者 QOL を向上に有効な方法と考えられた。